



かえでゆうびん 8月号

2024年8月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

東京オリンピックから早4年。パリオリンピックは今まで通りの体制で行われています。2021年、東京オリンピックはコロナ禍の中で行われました。無観客、マスクなど異様な姿での大会でしたが、月日が流れ、皆の表情が見える生活が戻ってきました。それぞれのアスリートは、スポーツマンシップにのっとりそれぞれの種目に精一杯、戦いに挑んでいます。私も学生時代は体育会系で真っ黒になり皆でボールを追いかける日々を送りました。その仲間は今でもずっと付き合いのある仲間が続いています。

個人的なことですが、知人がお世話をしているレスリングの二人がパリで金メダルに挑みます。グレコローマンスタイル77キロ級の日下選手・フリースタイル65キロ級の清岡選手それぞれが金メダルを目指して戦います。あまりレスリングのルールはわかりませんが、これまでの練習を活かして頑張ってもらいたいと思っています。(試合は8月最初です)皆さ応援を宜しく願います。

勝つことを目標に過ごしてきた選手は、小さいころからスポーツで心も体も鍛えてきています。敗れた時の悔しさがわかるからこそ、踏ん張りなんとか先に進もうと力を出します。

乳幼児期は成果などを評価することなく、「やりたい・やれた・またやりたい」など挑戦しうまくいなくても認めてくれる人がそばにたくさんいて励まし導いてくれる世界の中で過ごしてほしいです。

いったん小学校に進むと「できる・できない」で採点される世界へと変わっていきます。点数での評価社会です。

今までの仲間がいずれはライバルになり、「勝利」を目指してその瞬間にどれだけ自分の力を出せるか・・・共に戦ったり、ライバルになったり様々ななかかわりの中で心も体も出来上がっていきますが、人生で失敗やうまくいかないことを体験せずに大人になってしまうと、ダメな評価を出されてしまったとたん、自己否定に偏ってしまい心が折れたままに・・・となってしまう。

大人になるまでの乳幼児期に一人一人個性を大切にかかわることの重要となり「評価」ではなく、失敗も成功も共に気づき、ともに喜び、そしてどんな状況であっても受けとめてもらう事ができてこそ成長の中で心が強くなっていきます。心の葛藤があった時、自己否定ばかりをしていくのではなく、自分を丁寧に分析し、何かうまくいかなかったときに次どうするかを考えられる「人」になってほしいと願います。

スポーツ選手の方々の競技に向かう時のきらきらとした「まなざし」が大好きです。しばらくはオリンピック・高校野球など楽しませてもらおうと思います。

おねがい

・熱中症対策として、こまめな水分補給をしています。
熱中症警戒アラートの暑さ指数(神戸)を9:00と15:00に確認し園庭遊び等も調整しています。**暑さ指数3.1以上(危険)の場合は園庭での遊びを見合わせます。**

・夏季保育の申し込みは締め切りました。
保育希望を提出された方も後でも変更があった場合は速やかに申し出ください。保護者の方の休暇等の場合はご自宅でお子様も一緒に過ごしていただくようご協力ください。

おしらせ

全てのものに名前を書いてあげてください

(名前がないと子どもが着替えたり片付けるときに困っています)

・お子様の清潔を保つためにシャワーをしています。毎日身体拭きタオルの持参して下さい。いつでも遊べるよう多めの着替え・パンツの用意をお願いします。また、一日の汚れ物を忘れた場合園での洗濯はできません。降園の際、荷物の確認をして下さい。

8月の予定

- ・20日(火) 避難訓練
- ・23日(金) 月例健診
- ・28日(水) 誕生会
- ・夏季保育8月10日～17日(就労の方のみ)
- *10日土曜日は弁当日 傷みにくいものでご用意ください**
- ・2・29日(金・木) 絵画
- ・1・8・22日 体操(15、29日はお休みです)
- ・夏休み期間中、中学・高校・大学生(卒園児)のおかえりDAYを開催しています

9月の予定

- ・敬老週間
 - ・保育参加(めばえ・ふたば・つぼみ)
- 詳細は後日お知らせします

実習生

- 8月19～29日 関西国際大学 1名
- 9月2日～12日 関西学院大学 2名

猛暑が続き温暖化による異常気象の影響があらこちらで深刻化しています。先日から東北地方では、豪雨により各地域で甚大な災害・被害が出ました。美味しいお米が作られている山形県では稲作の成長も心配されていることでしょう。今回は離れた地域のことですがもしもの時、各ご家庭で「災害時にはどうするか」をお子さまと一緒に今一度考えてみてはいかがでしょうか。お子さま自身も自らの思いや意見を出してくれることもあります。小さなお子さまでは大人が真剣に話している姿を見聞きしているだけでも気持ちを感じとってくれると思います。園内でも子どもたちと毎月の避難訓練の日には「こんなときにはどうする?」と話し合ってみたり、担当の保育者が訓練の内容に応じて伝えておきたいことを具体的に話したりしています。いつどこで起きるかもしれないことを想定しながら、大人は子どもを守り、子どもには「自分で自分の命を守る」を大切なこととして、日々の保育の中で繰り返し伝えながら、毎月避難訓練を行い、実際に起きた時のことを想定しながら慌てず対応していきたいと思っています。

主幹保育教諭 F

風鈴の音色が心地よい今日この頃、今年も各地でお祭りや花火大会が行われ、夏の風物詩が季節の移り変わりを知らせてくれています。4年に1度のオリンピックも開催され、大舞台上で活躍する選手の姿を見ると、自然と肩に力が入りますね。オリンピックを通して子どもたちも何か感じるきっかけになればと思いをしてみると、だいち組を中心に開催地フランスについて調べたり、新聞の記事を集めるなど、わくわくしながら興味を持ち始めています。

“オリンピックのしんぶん、もっていませんか”という手紙を書いて、イラストも添えて、保育者に配って回ろうと忙しそうに園内を駆け回っていました。運動の得手不得手に関わらず、誰かを応援する気持ちや、夢中になって取り組む楽しさなどそれぞれの感じ方で得るものがあるのではと思います。これからどこまでも夢を膨らませられる子どもたちにとって、大人が本気で取り組む姿はきっと、希望に溢れていることと思います。身近にいる私たち大人も、何かに夢中になって取り組む姿や、諦めずに挑戦する気持ちを、子どもたちの心に届けていきたいです。

主幹保育教諭 K

保護者からのエピソード

先生のメッセージ

みなさんは、この写真に写るものは何に見えますか？
子どもたちと一緒に園庭で遊んでいた時、ある子が「先生、面白いの見つけたよ」と嬉しそうに手をひいてこの場所まで連れてきてくれました。見てと指さす方を見ますが…特に何も見当たらず。私が周りを見渡していると「ここ、あれに似てない？」「海にいて、大きくて」とヒントをたくさんくれます。いろんな動物を言いますがなかなか見当たらず、見かねた子が「正解は…ネッシーだよ」と教えてくれました。まず、ネッシーを知っているの！？という驚きとただの葉っぱと床にしか見えなかった私の創造力の乏しさに気づかされました。水遊び後に、築山で寝転んで空を見ていると「あの雲、龍みたいだね」入道雲を見て「かき氷美味しそう」と呟く姿や子どもの素直なひらめきには、いつも感心するものばかりです。街中を歩いているとふとした時に見つけては、1人でほっこりしています。いつも何気なく通っている道も新しい気づきがあって見方が変わるかもしれませんね。
最後に、私にはピエロに見えてしょうがないエレベーターにあるボタン、皆さんにはどのように見えていますか？



H先生

保育園での話を聞かせていただき、家では見せない一面を知ることが多々あります。下の子にやさしくお世話をしていると聞き、うれしく思っています。だいち組になり、今まで以上に色々な経験をさせていただき、とても感謝しています。
最後の保育園での生活を楽しんでほしいです。

だいちぐみ みゆきさん

入園児はハイハイしかできなかった娘が、今ではそこらを走り回っています。お友達もでき、日々の成長に驚きと楽しみでいっぱいです。
これからも元気に育ててください。

ふたば組 たけひろさん

突然「〇〇くんと結婚する！」という報告を受けましたが、登園した時に違う子から結婚したいとプロポーズを受けました！その日からプロポーズしてくれた子と結婚すると心変わりしてました。男女とも仲良く過ごしているのだと感じました。
ちなみに娘の結婚したい理由は、お姫様みたいな可愛い恰好したいからとのことですよ、…

ひかり組 ようじさん

毎日今日は誰と何をして遊んだ、先生が〇〇って言ってた！とお話してくれます。早く保育園へ行きたいなあと言うのですが、登園時はまだ時々泣く謎です。園生活はとても充実していて、かけがえのない時間なんだろうな～というのが伝わりこちらでも嬉しく感謝でいっぱいです！これからも楽しいことがいっぱい見つけられますように！

いぶき組 やすかさん

ひかり組になり、絵を描いたり何かを作ることが更に好きになりました。保育園で作った物を持ち帰る時のキラキラした目、帰宅してから1つ1つ細かく説明している時の嬉しそうな顔を見ると、幸せな気持ちになります。
夢中になれることをこれからもたくさんして楽しんでほしいな、と思っています。

ひかり組 ありささん

園で、長男は率先して片付けをしてくれると聞いて、とても嬉しく思います。家でも弟が散らかした玩具を一人で最後まで片付けてくれています。これからもまた一つ成長した姿が見られる日を楽しみにしています。3歳あたりから恐竜にはまった長男は、家での会話も恐竜に関する話ばかり。興味があることは伸ばしてあげたい気持ちから、旅先も恐竜のことを考えて動きますが、いつまで覚えてくれるのかなとか思ったり。卒園までの間、園でも沢山の事を経験して吸収してほしいです。次男は長男と性格が真逆で、豪快に笑い、豪快に食べ、何もかもが豪快？親は弟で初めてイヤイヤ期を経験させてもらいました。漫画になるような面白い行動をしてくれる弟です。怒ってもつい許してしまい、とくな性格だなと思います。赤ちゃんの頃からずっと、お買い物中でも色々な人に笑顔振り撒いています。そしてお兄ちゃんの真似をよくするので、いいところを真似して三男の面倒をちゃんと見てくれる子に育ててほしいなと思うこの頃です。

つぼみぐみ・だいちぐみ きみさん

8月の子どもたちのようす



水や泥に触れ、「つめたい」「どろどろ」など様々な感触を味わいながら楽しんでいます。はじめはタライの中の水に、不思議そうに手を伸ばし楽しんでいましたが、今では夢中になって遊んでいます。



花紙をちぎったり、握ったりして、握った感触やビリビリと破れる感触・音などを楽しみました。破った花紙をR-1の容器に入れて水を入れると、中で花紙が動き、子ども達は嬉しそうに振って遊んでいます。



夏本番となり、セミの声が聞こえてくるようになりました。生き物に興味がある子ども達は耳を澄ませたり築山に探しに行くことが日課になっています。鳴き声が聞こえてくると「みんないた！」と声を掛けてくれる姿も見られます。子どもの生き物への興味が続くように一緒に探したり触れる機会を作っていこうと思います。



大きな模造紙に、クレヨンで自由に絵を描きました。カいっばいクレヨンを握り、ぐるぐると線を描いたり、点々とクレパスを紙に叩きつけてみたりと、自由に表現していました。また、描き終わった模造紙をみんなでくしゃくしゃに丸めて伸ばし、丸めて伸ばし、、、紙の感触も感じながら楽しみました。8月は氷やしぼん玉など、戸外でも楽しめる感触あそびを取り入れていきたいと思っています。



先日園庭で子どもたちとセミ取りをしました。園庭の桂の木にいるセミを見つけると、「ここだよ」「いたよ」と教えてくれました。保育者が虫網を構えると「がんばってー」と応援してくれました。見事捕獲に成功し、最初は喜んでいる子どもたちでしたが、保育者が「セミさん鳴いているね」と言うと、泣いていると勘違いした子どもたちがセミを心配し、「ママがいいのかな」「おそとだしてあげよう」と思いやる姿がとても可愛らしかったです。



先月の17日にそうめん流しに参加しました。今日はそうめんながしだと伝えると、昨年のそうめん流しを覚えていたのか気合い十分の子どもたちでした。流れてくるそうめんをじっと見つめ、自分の前にきたタイミングで手づかみでキャッチしました。そうめんをつかめた瞬間には嬉しそうな笑顔を見せてくれました。又、昼食には厨房で冷たく冷やした美味しいそうめんをお腹いっぱい食べ、満足気な子どもたちでした。





ベビーキャロットを収穫しました。土の中を見てみると、小さなベビーキャロットを見て「かわいいね」「オレンジ色だね」と嬉しそうな姿の子ども達。みんなで厨房まで持って行き、お昼ご飯でいただきました。「おいしいね」と嬉しそうに食べました。人参の水栽培も始めました。葉っぱの成長を楽しみにお世話をしています。



ドーナツ屋さん引き続き、アイスクリーム屋さんで遊ぶことを楽しんでいます。店員さんになりきって「いらっしゃいませ」「大盛りですよ」と嬉しそうな子ども達。お客さんは友だちや保育者と一緒にアイスクリームを食べて、顔を見合わせては笑顔浮かべていました。



金時豆を15本収穫しました。子どもたちと「どうやってたべたらおいしいかな？」と相談しながら考えました。豆ごはんをすることになり、お米を洗い、塩と料理酒を入れて炊きました。「おさげ?」「かおがあかくなっちゃうよ!」と話していた子どもたち。出来上がった豆ごはんを食べると「おいしくなってる!」と大喜び。次はみそ汁に入れてみたいと豆を使って、どのように美味しいご飯を作るか話しています。



気持ちよく晴れ渡った青空に、照りつけるような日差し。いよいよ夏がやってきました。じゃぶじゃぶ池のポンプや、スプリンクラーから水を出し、全身で水を感じながら遊んでいます。バケツで頭から水を被ったり、ダイナミックに遊ぶ子どもも居れば「やってみたいけど…」と様子を見ている子どもたち。そんな中で両手を差し伸べ、「一緒にする?」「ちょっとだけやってみる?」と誘い掛けていました。友だちが誘ってくれたことが嬉しくて、次第に輪が広がり、気付けばみんなで笑い合っ水遊びを楽しんでいました。



～お祭りごっこがしたい!～
 幼児クラスで紙コップを使った製作が人気で、その中でも毛糸や色画用紙を工夫してジュース作りが盛り上がっていました。“たくさんつくっておみやげさんにしたらたのしそう”というAちゃんのアイデアに共感した友だちが次々に集まってきて看板作りやメニュー作りに広がりました。ジュース屋さんを楽しんでいる友だちを見て「まえのだいちゃんがいみたいにおまつりをしない?」とさらにアイデアが浮かんできて、子どもたちの中で計画が進んでいます。



～お米当番はじめました～

栽培しているお米が育ってきており、お米への興味が広がってきました。その姿からだい組が食べるごはんを炊く当番を始めました。お米をこぼさないように丁寧に洗って釜に移し、目線を線と同じ高さに合わせて「5」の線ピッタリになっているかじっくりと確認してから炊飯器に入れてスイッチを押します。初めはお米や水がこぼれてしまったり、役割分担が上手くいかず戸惑う姿も見られますが、お米一粒一粒に感謝の気持ちを込めながらチームの友だちと協力しながら取り組んでほしいと願っています。



🍴 お台所から 🍴

ダンディタイムの方とだいち組が協力して組み立てた竹で
そうめん流しを楽しみました。組み立てていた竹は、園庭での
水遊びでも使われています。水の流れを観察しながら、角度を
調節しながらコースを作り遊びも広がっています。暑い中でも
涼しさを感じながら水遊びや水路遊びを楽しみます。



待ちに待った七夕の日。今年も七夕ちらしを作りました。毎年一人ひとつずつの
星型のにんじんに大喜びしてくれる子どもたち。すし飯の中には、小さく切った
高野豆腐、みじん切りのにんじんとしいたけが入っていて、その上には千切りの
きゅうりと、錦糸卵を乗せて、見栄えよく仕上げました。しいたけを苦手に思う
子が多いので、しっかりと味を付け、食べやすいようにしました。

またおやつはぶどうゼリーとサイダーゼリーの2層にして見た目から楽しめる
ようにしました。「もしかして、もも入ってる？」とぶどうゼリーに果物が入っ
ていることに気付いてくれる子がいて、食べる事に対して興味をもってくれたこと
が嬉しかったです。子どもたちが喜んでくれる姿を想像してメニューを考えたり、
見栄えよく盛り付ける工夫をしたりしています。愛情込めて作ったごはんを美味
しいそうに食べてくれる様子を今後も間近で見て、一緒に「おいしいね～」と共
感していきたいと思います。



7月12日

今月の誕生日会はお昼ごはんから揚げ、おやつにはさくらんぼとみかん
をのせたケーキにしました。ふたばさん・つぼみさんはのど詰め防止の
ため一粒ずつ種を除いたものを食べました。真っ赤なさくらんぼを見て
「わ～おいしいそう!!」と喜んでいる子どもたちを見ると作ったこちら
まで嬉しくなります。毎月季節の果物をケーキにのせています。来月は
ぶどうをのせたケーキを食べる予定にしています。

栄養士 H先生 N先生



8月のあそびへの思い

めばえ

梅雨が明け、セミの鳴き声と共に本格的な夏がきました。暑い時間を避けながら、短い時間で水あそびや泥あそびを楽しんでいます。子ども達は砂や泥の感触にも慣れ、歩いたりハイハイをしたりしながら、それぞれ自分の好きなところへ移動して遊ぶようになりました。水、泥、氷などそれぞれの感触を楽しみ五感を育てていきます。園庭に出る前と、室内に入った時にこまめに水分補給をするようにしています。これからも暑い日がまだまだ続きますが、子どもたちの体調に合わせて夏のあそびを楽しみます。

そして室内でゆったり過ごす時間もつくるようにしています。集団で過ごす中で、保育者と1対1でゆっくり関わる時間を大切にしています。その中で、子どもたち一人ひとりの思いを感じ、受け止めながら過ごしています。

ふたば

気温が高くなり、水遊びがどんどん盛り上がってきました。園庭の砂場にある井戸から水を出すには、ポンプを上下に動かして水を汲む必要があり、中々力がある作業です。幼児のお兄さん・お姉さんがジャンプして体を上手く使いながら水を出しているところを、いつもそばで見ているふたば組の子ども達。次の日、「よいしょ！よいしょ！」と見よう見まねでポンプを動かしてみると、ちょろちょろと少しでしたが水が出てきたことに、子どもたちは大喜びでした。

普段の生活の中でも、周りの友だちや大人の姿をよく見て、真似しながら色んな“初めて”に挑戦しています。そんな一人ひとりの挑戦を見逃さないように、じっくりと子どもたちの気づき・発見を見守っていきたいと思います。



つぼみ

本格的な夏がやってきました。園庭では蝉が元気よく鳴いています。子どもたちもセミに興味津々で虫かごに入ると順番に観察を楽しむ姿が見られます。バッタやカマキリなどの夏の生き物にも興味があり、幼児さんが捕まえた虫を横からじっと眺めています。するとその視線に気付いた幼児さんは「見る？」と優しく声を掛けてくれます。毎年恒例のじゃぶじゃぶ池の水遊びも異年齢で盛り上がり、お兄さんお姉さんの遊びを真似しながら、色々な遊びの知恵を吸収して過ごしています。

これからさらに暑さが増していく日が続くかとは思いますが、風鈴の音を聞いて涼んだり冷たい水で遊んだり夏ならではの過ごし方を楽しんでいけたらと思います。

いぶき

いつの間にかセミの声が聞こえ始め、季節はすっかり夏です。園庭に出るとセミの抜け殻を集めたり、水遊びを思いきりしたりと夏ならではの遊びを楽しんでいます。

シャワーの着替えの時には、服を自分で畳んだりタオルで身体を拭こうとしたりと身の回りのことを「自分でする」という気持ちがみられます。難しいことがあれば保育者に伝えて一緒にしてみたり、ペアのお兄さんお姉さんに頼ったりするときもあります。「自分でできた」「一緒にできた」ということが自信に繋がってほしいと思います。

厳しい暑さの中ですが、細目に水分をとり体調面に気を付けながら、夏の遊びを思い切り楽しんでいきたいです。

ひかり

セミの声に負けられないくらい、元気いっぱいの子もたち。子どもたちと友だちが嬉しい気持ちになる「ふわふわことば」、悲しい気持ちになる「チクチクことば」について話し合いました。ひかり組になり、友だちとの関係が深まり、誰かと一緒に、この子と一緒にしたいという気持ちも芽生え、言葉でのやり取りも深まってきました。子どもたちに「ふわふわことばって何だろう」と尋ねてみると「ありがとう」や「だいすきだよ」の他にも「ぎゅってすること」「手を繋ぐこと」と言葉以外にも相手がいい気持ちになることなどが会話の中ででてきました。普段の関わりの中でも、自分の想いを言葉で伝えることが難しく、衝突しながらも、仲直りをして過ごす中で、相手のことを思いやる気持ちが芽生えていってほしいと思います。

だいち

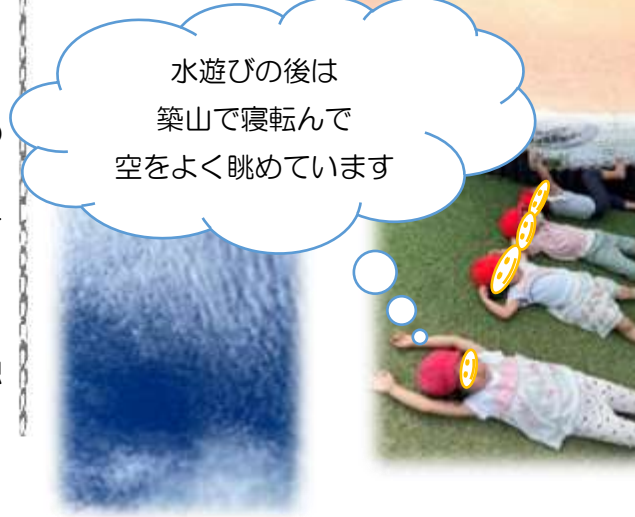
毎日の猛暑に負けず、子どもたちはダイナミックに水遊びや氷遊びを楽しみながら全力で夏を感じています。7月よりみんながお昼寝をしている間のだいち組だけの“ひみつの時間”では、困った事や悩んでいる事・やってみたいことを話し合っています。先日は生きもののお世話の仕方について見直し命を育てる責任や大切さについて再度確認しました。話し合う中で、自分の想いが溢れて友だちが話している時について自分の思いを発言してしまうこともあります。その気持ちをぐっとこらえ“相手の話を最後まで聞く”ことに意識を持てるように関わり、自分以外の意見や思いにも耳を傾ける経験ができるよう保育を進めていきます。

はまかせ

「今日は水遊びするぞ」と子ども達は水遊びや泡遊びと工夫しながら遊びが盛り上がってきています。最近ではセミの鳴き声が聞こえてくると「虫網ください」と友だちと協力し合いながらセミ採りが始まります。「捕まえた」の声が聞こえるとセミの周りにたくさん集まってきます。

セミを観察しながらどうして鳴くセミと鳴かないセミがいるのか、触るのは怖いけど手に持つ子の傍でじっと見ている子と様々です。幼児で『ぼく、あぶらぜみ』の絵本を見た時にセミの赤ちゃんは土の中で生活していること、大人になると2週間程しか過ごせないことを知りました。

園庭で見つけたセミも観察した後は「お家に返してあげよう、みんなもお家あるでしょ」「またね」と声を掛けて木の側に戻しています。



水遊びの後は
築山で寝転んで
空をよく眺めています

